

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
6月定例会 議案等審議結果一覧	3
議会新体制スタート	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



採取した虫や魚を観察する子ども達 (6月12日 興野 ほたる鑑賞会)

6月定例会が6月7日(火)に招集され、6月16日(木)までの10日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しています。

※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第130号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目 (質問順)

※赤字になった項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。



中山 五男 議員

- 1 県立中高一貫教育について
- 2 庁舎の耐震化について
- 3 若者定住促進のための家賃補助制度の推進策等について
- 4 保育士就労奨励金事業について
- 5 高校生の政治参加意識の高揚について



平塚 英教 議員

- 1 烏山産廃処分場建設問題について
- 2 「中小企業振興基本条例」について
- 3 本市農業振興計画の策定を後期高齢者医療制度の現状と課題
- 5 公民館行政について
- 6 本市新武道館建設と利活用について



渋井 由放 議員

- 1 市民憲章について
- 2 那須烏山市地域防災計画について
- 3 子どもの貧困対策の推進に関する法律の対応について
- 4 精神障がい者支援について
- 5 電力自由化の対応について



矢板 清枝 議員

- 1 食品ロス削減に向けての取り組みについて
- 2 子育て環境の充実について
- 3 英語力向上について
- 4 公共交通について



小堀 道和 議員

- 1 地域に愛される学校づくりに
- 2 熊本地震の教訓を生かして



川俣 純子 議員

- 1 ここなす炬力フェスについて
- 2 山あげ祭のユネスコ無形文化遺産の登録に向けて市での対応について
- 3 障がい者の医療費の助成事業と障害者雇用促進法について
- 4 選挙の投票時間について



久保居 光一郎 議員

- 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 2 市内全域の空き家状況と空き家等情報バンクについて
- 3 山あげ祭の振興について



滝口 貴史 議員

- 1 議会運営を含む情報化の推進について
- 2 熊本地震を踏まえた庁舎の在り方について
- 3 トンネルの照明について
- 4 猟犬の事故と野犬について
- 5 未来ある農業について



小森 幸雄 議員

- 1 道の駅について
- 2 農業センサスの分析と農林業振興について
- 3 駅前の活性化計画について



議会の動き

平成28年4月

30日 議会だより第40号発行

5月

30日 議会運営委員会
○ 議員全員協議会

6月

7日 第3回定例会
(16日まで)

8日 議会運営委員会
9日 議会広報委員会
10日 各常任委員会

14日 議会改革調査特別委員会

○ 行財政改革調査特別委員会

16日 議員全員協議会
○ 議会運営委員会

7月

14日 議会広報委員会
19日 議会広報委員会
23日 「山あげ祭」烏山線利用観光客お出迎え

○ 秩父市議会等来訪

24日 「山あげ祭」烏山線利用観光客お出迎え

28日 議会改革調査特別委員会

平成28年6月定例会
一般質問から
 ※質問・答弁の内容は要約してあります。
 会議録は市立図書館及び市ホームページで
 閲覧できます。

中山 五男 議員

県立中高一貫教育校について

(問) 県では新しい人材を育成するため、県立中高一貫教育校を3校開校し、今年で10年目を迎える。本市内小学校卒業生もこれまでに17名が難関を突破し、県立附属中へ入学している。そこで、教育委員会では附属中入学をいかに判断されているのか。

(答) 学習内容は附属中、市立中共に同じだが、中高一貫教育校のメリットは高校受験がないこと。市教育委員会としては地元中学校への進学を望んでいるが、進路の選択は本人の意思と保護者の判断で決めている。

庁舎の耐震化について

(問) 熊本地震では市役所が倒壊寸前の被害に遭い、災害救助の拠点を失ったところがある。そこで、本市は両庁舎を耐震補強するか又は、本庁舎の建設年次を早めるか、いずれを優先する考えか伺いたい。

(答) 庁舎の安全対策は喫緊の課題である。現存する庁舎等の耐震化を推進する考えであり、近く策定する庁舎等耐震化計画に基づき方針を示したい。

平塚 英教 議員

産廃処分場計画について

(問) 大木須地区に計画されていた公共関係方式の管理型産廃処分場計画が白紙になったとの報道である。しかし、県産業廃棄物処理業協同組合の所有していた土地は4月下旬、県環境保全公社が引き継ぎ、今後跡地活用を検討していくとの事だが、これが次期処分場に活用されないように市当局は地元住民の意思を尊重して対応されたい。

(答) 大木須地区の管理型産廃処分場は、事業断念と新聞等で報道された。しかし、産廃組合所有の土地が県環境保全公社に引き継がれている。同公社が公共関係方式の管理型産廃処分場整備を目的としたものであり、今後どのように対応していくか本市として注視し、情報収集に努め、地元の意向を十分踏まえ、慎重に対応したい。

公民館行政について

(問) 市の公民館運営が様変わりして市民に大変不便を来している。改善を。(答) 社会教育法の公民館の目的達成のために、事業内容も精査、検証し、公民館行政及び運営方針を、抜本的に見直してまいりたい。

小堀 道和 議員

地域に愛される学校づくり

(問) 地域を挙げて学校を支援し子供たちを育てる制度を法制化する動きがあるが、成功の鍵を握るのが地域に愛される学校になっているかである。そのために人づくり教育に特色を持った活動を地域と一体となって実施すべきである。そうすることで多くの方が支援に来る、地域に愛される学校になると考えるが見解を伺う。

(答) そのような活動になるよう各学校に指導していく。



JANAす南の職員が児童と花育活動をする様子

(問) 具体的には学校独自の重点活動を3〜4項目設定し、強気に推進させる道具として学校評価制度を活用すべきであるが見解を伺う。

(答) 学校の教育目標達成のための評価制度を活用し、PDCAを回しながら、開かれた学校運営を進めていく。(問) そのための第一歩として、地域に愛され開かれた学校の象徴として校長室のドアを透明化すべきと思いがどうか。

(答) 校長室を閉じる場合もあるが、機密事項等でない限り校長室のドアを開けておくよう指示していきたい。

渋井 由放 議員

子どもの貧困対策の推進に関する法律の対応について

(問) どのような施策を策定し実施しているのか伺う。(答) 子供の将来が、その生まれ育った環境によって左右されることなく、また、貧困が世代を越えて連鎖することがない社会を実現するため、教育委員会が学校と連携して、各種集金等の状況から貧困と思われる家庭に対して、きめ細やかな指導、支援を行っている。

(問) 就学援助制度は、平成17年度より国の補助を廃止し、税源移譲・地方財政措置が行われ市が単独で実施している施策で、本市には児童生徒就学援助規則がある。その第2条に就学援助を受けることができる者が規定されているが、例えば「地方税法第295号第1項に基づく市民税の非課税」等と書かれているため、内容がすぐに理解できない。保育料は、同じ内容で収入のモデルが掲載されている。また日光市では、大人1人、小学生1人では、前年度の世帯全員の総所得額が240万円程度、大人1人中学生1人では250万円程度などと分かりやすく掲載されている。本市もこのような表現が出来ないか。

(答) 他市町のお知らせ等を参考に修正していきたい。

矢板 清枝 議員

英語力向上について

(問) 本市の小中学校では、今年度から全校にALT教師を配置して、さらなる英語力の強化を図っている。3月定例会で質問したイングリッシュキャンプの実施について、進捗状況を伺う。



児童に自己紹介をするALTの先生(右)

(答) 本市小中学校へALTを派遣している業者と連絡をとり、どのような形で実施ができるか調整を図っている。実施時期は、今年度ないし来年度、予算状況によって若干ずれる。小中学校の高学年から中学生の希望者を対象に、日帰りでの実施を考えている。

公共交通について

(問) 市営バスが4月より2路線廃止となった。交通弱者の手段としてのデマンドタクシーのさらなる充実が必要であると思うが、市の考えを伺う。

(答) 現在のデマンド交通の課題の洗い出しなども継続して行い、市民の足として存在感のある交通手段となるよう周知に努め、運行日、時間、便数等の検討とさらなる充実を目指し取り

組んでいく。また、市内の公共交通システム全体の向上のため検討を進めていく。

川俣 純子 議員

ユネスコ無形文化遺産登録に向けての市の対応

(問) 今年の山あげ祭中にユネスコ無形文化遺産登録に向けて特別な事業計画はあるのか。

(答) 新宿駅より特別列車「リゾートやまどり」を利用して「烏山山あげ祭号」として運行する。車内では烏山語りの会による民話を披露、山あげ祭の見どころ紹介、オリジナルのエコバックなどを配布。烏山駅前では太鼓演奏、模擬店出店。なすから英語塾の生徒による実践研修として、外国人観光客に英語での観光案内を予定している。また、都内の路線バスに山あげ行事と鹿沼の屋台行事を全面にラッピングして走らせる計画を進めている。



烏山山あげ祭号として運行した「リゾートやまどり」

選挙の投票時間について

(問) 茂木町が投票時間を繰り上げたが、本市の計画はどうなのか。(答) 群馬県は99%の投票所で1〜2時間、福島県は

100%、1時間投票時間を繰り上げています。栃木県は7%の実施である。時間の繰り上げは、経費削減等、メリットがあるため、今後検討を進める。

久保 居光 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

(問) まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に、那須烏山市の少子化関係指標として25歳から39歳までの男女別の未婚率が記載されている。特に男性の未婚率は全国平均49.8%、県平均49.8%に対して本市は57.7%と高く、全国自治体のワースト約140位である。また40歳を超えた男女の未婚率も多と考える。この問題は、他の自治体と同じ手法ではない真剣な取り組みが必要ではないかと思うが、市長の所感を伺う。

(答) ご指摘のとおり、本市の未婚率がワースト140位ほどであり、不名誉ではあるが実態である。また男女ともに39歳から50歳までの未婚率も極めて高く、これが少子化問題の大きな要因である。目指す将来の方向性は、若い世代の就労・結婚・子育て環境の整備である。自然を活かした地域おこしや地域おこし協力隊の活用等により、できるだけこちらでの結婚を推進する策も講じたい。

(問) この戦略の検証はPDCAの手法だけでなく可能な限り5W2Hの手法を導入してはと思うがどうか。(答) 私から率先垂範して

5W2Hの考えを浸透させたい。

滝口貴史議員

熊本地震を踏まえた庁舎のあり方について

(問) 熊本地震を踏まえた庁舎のあり方について改めて市長の見解を伺う。

(答) 熊本地震では、耐震補強工事が完了した熊本県益城町役場が想定外の強い揺れにより損壊を受け、使用できなくなる事態を招いた。昨年9月の市議会定例会にて、合併20周年となる2025年までに烏山市街地に本庁舎を整備する旨答弁したが、安全が確保できる耐震補強を実施することが最優先であると考える。本庁舎が整備されるまでの暫定期間にあっても、烏山庁舎及び南那須庁舎の耐震補強を実施したい。

(問) 本庁舎整備を控え、多額の費用を要する両庁舎の耐震化は余分な経費がかかる。両方の実現は困難では。

(答) 既存庁舎の安全を確保することが優先。本庁舎整備も推進することによりは無い。また、有事の際の避難所となる体育館や公民館は未耐震の施設が多数存在している。既存の公共施設を最大限に活用することが効果的である。庁舎整備と合わせ、公共施設の安全対策に向け、耐震化計画を年度内に完成させたい。

小森幸雄議員

道の駅について

(問) 道の駅は、地域の活

性化の拠点である。具体的には産業振興、地域の福祉、交通の接点、防災、観光総合窓口、インバウンド(海外から日本へ来る観光客)観光、地方移住促進、交流連携等のため必要性があると考えるが市長の所見を伺う。



新鮮な野菜が並ぶ直売所

(答) 平成22年度に農政課を中心に庁内プロジェクトチームをつくり、施設の位置、規模、機能等について具体的な検討を行い、平成23年3月に道の駅整備基本構想(素案)をまとめた。

しかし、東日本大震災の発生により、道の駅を初めとする大規模事業を凍結した。一方で、凍結解除に備えて栃木県道の駅連絡協議会に参加し、情報収集に努めている。

(問) 必要性は十分に認識されているとの話だが、平成23年度に組んだ道の駅実施計画の予算500万円の凍結を解除し、9月の補正に計上しないと前に進まないと考えられるかがか。

(答) 民間活力導入などを踏まえ検討委員会を9月までに立ち上げ、予算がいくらか必要になるのか精査していく。

主な質疑

6月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

専決処分の報告(損害賠償の額の決定及び和解について)

議員 雪により市道内の街路樹が折れ、物損事故が発生した。市が責任を負い100%補償した。市が補償すべき基準をどう考えているか。

答弁 今回の事実関係を正確に調査し、保険会社に判断を受けた。なお他の類似場所については、これからしっかりと管理していきたい。

専決処分の承認(平成27年度一般会計補正予算について)

議員 まちなびサイン看板設置工事費1500万円が計上されているが、既に設置されたのか。

答弁 J R烏山駅から山あげ会館または仲町当りまでの間に13カ所の案内板設置を検討している。ユネスコ無形文化財遺産登録までには完成させたい。

税条例の一部改正について

議員 税条例で優遇することとで税収が減ることになるが、市として収入を増やすために再生可能エネルギー事業等を独自で行うことは検討しないのか。

答弁 民間で大規模な太陽光発電設備施設が設置され、今後も計画されている。まずは民間誘導に

国民健康保険税条例一部改正について

議員 今回の改正により市として税収が減少するが、その分を国等が負担する措置はないのか。

答弁 今回の軽減措置により市として80万円弱減収となる。低所得者数や保険料の軽減分に応じて支援される仕組みがあり、国が4分の2、県から4分の1を負担し、市の負担は4分の1となる。

新武道館建設工事(建築工事)請負契約の締結について

議員 下請けの業者や資材業者等を選定する際は、地元の業者を優先的に使用するよう指導して欲しい。

答弁 今回の建築工事のみならず、他の工事についても市内業者へ優先的にお願いしている。資材調



新武道館建設工事起工式の様子



新武道館完成イメージ図

達については価格の問題もあり、全てとは言えないが、全体的に限り市内業者を優先するよう依頼している。

議員 4年前の学校給食センター入札で、業者が設計図書を知りすぎたまま入札し、さまざまな問題を起こした。再発させないため、発注者・受注者ともに設計書等を熟知して入札を行ったのか。さらに設計ミスや積算ミスに関して、業者が契約書どおり責任を持つことを特約条件として入れることはできないか。

答弁 今回は都市建設課の有資格者が携わって県の審査も受けて実施された。平成17年に制定された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」にのっとり執行していく。特約条件の条件付けの可能性については、検討委員会等で検討していきたい。

6月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)		議案等	審議結果	議案等	審議結果
追加議案第1号	監査委員(議会選出)の選任同意について	可決	議案第5号	税条例の一部改正について	可決
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度一般会計補正予算(第5号)について)	可決	議案第6号	国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について)	可決	議案第7号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて(税条例等の一部改正について)	可決	議案第1号	平成28年度一般会計補正予算(第1号)について	可決
議案第8号	監査委員の選任同意について	可決	追加議案第2号	新武道館建設工事(建築工事)請負契約の締結について	可決

議会新体制スタート!

6月7日に開催された第3回6月定例会において、市議会の新体制が次のとおり決定しました(◎は委員長、○は副委員長。委員の任期は2年。)

議長

渡辺 健寿

副議長

久保居光一郎

◇議会運営委員会

- ◎高田 悦男 ○中山 五男
- ・相馬 正典 ・小堀 道和
- ・田島 信二 ・沼田 邦彦
- ・平塚 英教

◇議会選出監査委員

- ・川俣 純子

6月定例会において、新たに特別委員会を設置しました。

◇議会改革調査特別委員会

▽設置目的・議会改革に関する調査研究のため

- ◎中山 五男 ○高徳 正治
- 他議員16名

◇議会広報委員会

- ◎相馬 正典 ○望月千登勢
- ・小堀 道和 ・滝口 貴史
- ・矢板 清枝 ・渋谷 由放
- ・久保居光一郎 ・平塚 英教

◇南那須地区広域行政事務組合議員

- ・渋谷 由放 ・渡辺 健寿
- ・佐藤 昇市 ・沼田 邦彦
- ・中山 五男 ・小森 幸雄

◇J R烏山線利用促進対策特別委員会及び行財政改革調査特別委員会に於いては変更ありません。

◇総務企画常任委員会

- 下段 ○滝口 貴史
- ◎沼田 邦彦
- ・中山 五男
- 上段 ・佐藤 昇市
- ・相馬 正典
- ・川俣 純子



◇文教福祉常任委員会

- 下段 ○小堀 道和
- ◎田島 信二
- ・樋山隆四郎
- 上段 ・望月千登勢
- ・渋谷 由放
- ・渡辺 健寿



◇経済建設常任委員会

- 下段 ○矢板 清枝
- ◎平塚 英教
- ・小森 幸雄
- 上段 ・高徳 正治
- ・高田 悦男
- ・久保居光一郎



議長就任挨拶



6月定例会において市議会議長に就任いたしました。たいへん光栄であると共に、その責任の重さを痛感しております。

また、今議会でも議会改革調査特別委員会が発足し、開かれた議会を目指してまいります。

本年11月には国指定重要無形民族文化財の「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しです。この機会を活かし、地方創生、まちづくりの核となるよう念じております。

市民の皆様のご理解ご協力をお願いしご挨拶と致します。

第8代議長 渡辺 健寿

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

9月定例議会は、9月6日(火)開会予定です。

※正式な日程は8月30日に開催される議会運営委員会で決定されます。

表彰



渡辺議長より表彰状を受け取る樋山議員

全国市議会議長会より、中山五男議員と樋山隆四郎議員が議員在職15年、渡辺健寿議員と久保居光一郎議員が議員在職10年の表彰を受けました。

熊本地震に義援金

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。市議会議員会(議員の親睦団体)は、被災された皆さまの救済や復旧にお役立ていただくため、10万円の義援金を九州市議会議長会に寄附しました。

意見書提出

6月定例会での決定を受け「川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書」を関係行政庁あて提出しました。

あしがき

本年もまた暑い夏がやって来ましたが、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本市議会も改選後折り返しとなる2年が経過しました。6月議会より渡辺健寿新議長が誕生し、常任委員会の構成も変わりました。

また、「議会改革調査特別委員会」を新設し、議会基本条例、議員定数等の問題に取り組み事となり、今後の議論を経て来年末には結論を出すべく活動が始まります。

市内に目を向ければ、山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録予定の11月が、間もなくやって来ます。登録となれば本市観光の大きな核となります。さまざまな問題がありますが、その名に恥じぬよう、今後しっかりとした体制を構築し、多くの人に感動を与えられるような祭りにしたいものです。

結びに、皆様のご健康、ご多幸をご祈念申し上げますとともに、ぜひ議会傍聴にお出かけ賜り、議員の市政に対する生の声をお聞き下さいませよう、お願い申し上げます。

(相馬正典 議員)

